

I いじめ問題に対する基本的考え方

1 基本認識及び基本姿勢

「いじめは人として決して許されない行為」であるがため、「いじめの芽は、どのどの児童にも生じ得る」という緊張感を常にもつことが重要である。

こうした基本認識に立ち、全ての児童がいじめを行わないことといじめを受けた児童の生命及び心身を保護することに全教職員一致協力して取り組み、「いじめのない楽しい学校づくり」に最大限努力する。

そのため、本校では、児童に人間関係を修復し良好な状態にしていく力と将来の夢と希望をしっかりとって粘り強くたくましく生きていくことができる力を育み、全ての児童が自分が必要とされている存在であると感じられ、安心して日々の学習や活動に主体的に取り組めるよう組織的機動的な教育活動を進める。

2 いじめとは【いじめの定義】

当該児童が、一定の人間関係にある児童から、心理的または物理的な影響を与える行為（インターネットを通じて行われるものも含む。）であって、その行為を受けた児童が心身の苦痛を感じているものをいう。

3 いじめ防止対策推進の基本的な考え方

- (1) いじめの問題に対する「基本認識及び基本姿勢」を全教職員及び保護者等で共有し、関係機関や地域住民等と連携しつついじめの根絶に向けた組織的な取組を推進する。
- (2) 校長をリーダーとするいじめ防止対策推進の中核を担う組織を校内に設置し、実効性のある取組を迅速に推進する。
- (3) 児童の心身や財産に重大な被害を与えるような重大ないじめに対しては、設置者や専門機関等の協力を得て、事実解明等を行う緊急の調査組織を設け、被害者救済のための必要な措置を講じる。

4 関係者の責務や役割

- (1) 学校及び教職員の責務
 - ・児童の保護者、地域住民、その他の関係者との連携を図り、児童の些細な変化・兆候にも注意し、いじめを看過したり軽視したりすることなく、未然防止及び早期発見に取り組むこと。
 - ・いじめの早期発見に努め、いじめを受けた児童を徹底して守り通すとともに、早期解決のために適切かつ迅速に対処すること。
 - ・教職員は、自己の言動が児童に大きな影響力をもつことを認識し、児童一人一人についての理解を深め、児童との信頼関係の構築に努めるとともに、いじめ防止対策委員会に報告し、学校教育全体を通じて組織的な対応に繋げること。
- (2) 保護者の責務
 - ・家庭は、児童にとって温かい愛情に包まれた場所として、心のよりどころであるとともに、児童の教育に関し第一義的な責任を有している。保護者の言動がその保護する児童に大きな影響力をもつことを認識しつつ、当該児童がいじめを行うことがないよう、規範意識等を養うよう努めること。
 - ・その保護する児童がいじめを受けた場合には、学校その他の関係機関と緊密に連携を図るなどして、適切にいじめから保護すること。
 - ・北海道、上川、幌加内町、朱鞠内小学校が講じるいじめ防止等のための措置に協力するよう努めること。
 - ・上記の規定は、いじめ防止等に関する幌加内町、朱鞠内小学校の責任を軽減するものとして解してはならないこと。

(3) 地域・各機関の役割

- ・地域において児童とふれあう機会を大切にし、地域ぐるみで児童を見守り、地域が連携協力して児童が健やかに成長できる環境づくりに努めること。
- ・いじめを発見し、またはいじめの疑いを認めた場合には、朱鞠内小学校、関係機関等に通報その他の措置をとるなどして、朱鞠内小学校等が行ういじめの対応に協力するよう努めること。

II 未然防止のための取組

いじめは、一部の特別な児童だけではなく、どの児童も被害者にも加害者にもなり得る問題であることを認識し、いじめ根絶の取組を全校体制で日常的・継続的に行う必要がある。それらの確実な実践を情操教育を中心として、体系化・組織化する。

1 いじめに関する基本的理解を深める取組

- ・学級活動や道徳の時間での意識化

2 児童の豊かな情操を育む取組

- ・体験活動の充実
- ・読書活動の推進
- ・ボランティア活動の充実

3 互いの違いも認め合い、支え合う集団づくりの取組

- ・学級経営の充実
- ・道徳教育の充実
- ・人権教育の取組
- ・全校集会の実施
- ・地域行事への参加

4 家庭・地域と連携するための普及・啓発の取組

- ・道徳授業の公開
- ・参観日～全体懇談・個人懇談
- ・学校だよりによる啓発
- ・外部講師を招いた講演会の実施

5 職員研修

- ・学級経営の交流
- ・校内研修の実施
- ・生徒指導研修会への参加

*実施プログラム

	基本的理解	情操を育む	集団作り	普及・啓発	職員研修
4	学級活動（学級作り）	クリーン作戦		個人懇談週間 参観日・懇談	校内研修（月1回）
5		わんぱくの森（春） 読書推進			
6					道徳教育研修
7	<u>学級活動（集会作り）</u>	わんぱくの森（夏） 読書推進	<u>児童会活動（集会作り）</u>	参観日・懇談	生徒指導研修
8					学校経営研修
9				参観日・懇談	
10	学級活動	わんぱくの森（秋）			
11		コンサート in 朱鞠内 読書推進 （そば打ち交流）			道徳教育研修
12	道徳授業公開 <u>学級活動（集会作り）</u>		<u>児童会活動（集会作り）</u>	参観日・懇談	学校経営研修
1					
2		わんぱくの森（冬） わかさぎ釣り体験		参観日・懇談	
3	学級活動（集会作り）				学校経営研修

Ⅲ 早期発見のための取組

すべての児童を対象に「予断を持たない」で観察し、対策を講じる姿勢をもつことの重要性を認識することが、いじめの早期発見・早期解消につながる。児童の変化に気づかずにいじめを見過ごしてしまうことは絶対に避けなければならないことである。そのための予防策を組織的・計画的に推し進める。

1 アンケート調査や各種調査の実施

- ・ いじめアンケートの実施
- ・ 子どもの理解支援ツール「ほっと」の活用

2 教育相談の実施

- ・ 定期相談の活用
- ・ チャンス相談の活用

3 ネットパトロールの実施

- ・ 全職員による計画的かつ日常的なSNSを中心としたネットの閲覧
- *実施プログラム

	調査関係	教育相談	ネットパトロール
4		日常的な教育相談	ネットパトロール (月2回 中旬・下旬)
5			
6	いじめアンケート		
7	子ども理解支援ツール「ほっと」	教育相談	
8			
9			
10	いじめアンケート		
11	子ども理解支援ツール「ほっと」	教育相談	
12			
1			
2		教育相談	
3		↓	↓

Ⅳ 早期対応のための取組

全教員がいじめ問題に対する専門的な知見を身に付け、発生を予測したり、心配される児童に対応するなど、教員主導で問題の解決や解消を図っていく治療的な対応を目指す。さらに、当面の問題解決のみならず、将来の問題にも適切に対応できるよう、全ての児童がいじめ問題を回避・解決できる力を身に付ける教育的予防を目指す。

1 基本的な流れ

- ① いじめの察知、発見
- ② 防止対策推進委員会の招集
- ③ 事実関係の解明 (状況把握・情報収集)
- ④ 指導方針の確認
- ⑤ 被害・加害児童への対応
- ⑥ 保護者への対応
- ⑦ 教育委員会・関係機関との連携

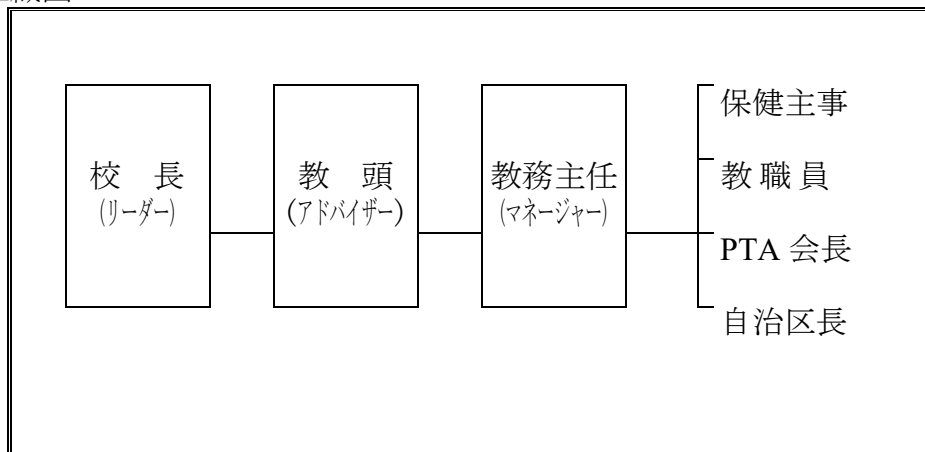
2 再発防止にむけた取組

- ① 経過観察
- ② 原因の詳細分析
- ③ 周囲の児童への指導
- ④ 学校体制、教育内容の改善・充実
- ⑤ 教員研修の改善・充実
- ⑤ 家庭・地域との連携強化

V いじめ防止等の対策のための組織

- (1) いじめ防止対策を実効的に行う組織として「いじめ防止対策委員会」を設置する。
- (2) 校長は、本委員会を定期的(6月・11月・2月)に招集するとともに、必要に応じて臨時に招集する。

<組織図>



- *校長(リーダー)はいじめ防止対策に係る基本的な方向性を示し、取組内容を決定する。
- *教頭(アドバイザー)は、校長の方針に基づき、教務主任(マネージャー)及び構成員に必要な指示並びに指導助言を行う。
- *教務主任(マネージャー)は、対策推進のための実務的な連絡及び調整を行う。

VI 「いじめ防止対策委員会」の責務

「いじめ防止対策委員会」はいじめ根絶に向け、次に掲げる事項に取り組む。

- ① いじめ防止基本方針の策定と公開
- ② いじめ根絶に係る児童の自治活動の推進
- ③ 児童の思いやりの心など豊かな心の育成
- ④ 児童の望ましい人間関係や自己有用感の育成
- ⑤ 児童の情報モラルの育成
- ⑥ ネット・トラブルの対応
- ⑦ いじめの早期発見・早期解消
- ⑧ いじめの再発防止
- ⑨ 関係機関との連携
- ⑩ 保護者等への適切な情報提供
- ⑪ いじめの問題及び児童理解に係る教職員の研修の企画と運営
- ⑫ いじめ防止対策推進に係る学校評価の推進
- ⑬ その他、いじめ防止対策推進に関すること

VII 重大事態への対処

児童の生命，心身または財産に重大な被害が生じた疑い，自殺をほのめかすような言動や物証，相当の期間または一定期間連続して学校を欠席することを余儀なくされているまたはその疑いを察知した場合は次の措置をとる。

1 重大事態の把握

- ・重大事故，事案の発生
- ・本人及びその保護者からの申し立て
- ・教育委員会，警察等関係機関からの通報
- ・その他

※ 重大事態か否かの判断は，法や国の基本方針等を参考にする。

2 重大事態の調査

- ・いじめ防止対策推進委員会の緊急招集，調査の実施
- ・事実の整理，校長への報告

3 重大事態の報告，通報

- ・教育委員会への報告，早期対応チーム派遣等支援の要請
- ・犯罪行為が認められる場合等は，警察への通報，支援の要請

4 調査組織の設置（教育委員会の指示により設置）

- ・校内調査委員の選定
- ・校外の専門家への協力依頼〔スクールソーシャルワーカー，スクールサポーター等〕
- ・「北海道いじめ問題等解決支援外部専門家チーム」の派遣要請
- ・加害者への教育的措置の検討
- ・被害者の救済措置の検討
- ・調査及び対応結果の教育委員会への報告

5 措置の実施

- ・教育委員会の指示に基づく措置の実施
- ・朱鞠内小学校危機管理マニュアルに添って対応

いじめ発生時対応フロー

【いじめの把握】

- いじめアンケート調査による把握
- 周囲の児童(生徒)からの情報
- 関係機関、地域住民等からの通報
- いじめを受けた本人(又は保護者)からの訴え
- 教職員の観察による発見
- その他

【初期対応】

- 発見者(把握者)
↓ <情報提供>
- 関係学年・学級担任等
↓ <事実確認, 指導>
- 関係児童への事実確認及び指導
↓ <情報提供>
- いじめ防止対策推進委員会

【いじめの報告】

- 発見者(把握者)
↓ <報告>
- 教務主任(マネージャー) → <調査の指示>
↓ <報告> ↑ <指示>
- 教頭(アドバイザー)
↓ <報告> ↑ <指示>
- 校長(リーダー)
↓ <招集>
- いじめ防止対策推進委員会

【いじめ防止対策委員会の招集】

- 事実関係の解明
- 指導方針の確認
- 個別指導の検討
- 役割分担の協議
- 対応チームの編成
- 関係機関との連携
- 全教職員による共通理解の形成

【いじめの解消】

- いじめを受けた児童への対応
- 周囲の児童への対応
- 教育委員会への報告(指導助言やいじめ早期対応チームの要請)
- 関係機関への相談(児童相談所, スクールソーシャルワーカー, 各種相談室等)
- 「子どもの健全育成サポートシステム」の活用
- いじめを行った児童への対応
- 保護者への対応

	いじめを受けた児童	いじめを行った児童	周りにいる児童
校内	<ul style="list-style-type: none"> ・徹底して守り通す。 ・関係機関等と連携を図り, 最善の手立てにより早期解消を図る。 ・心のケアに努め, 自尊感情を高める。 ・安全確保のための巡視体制を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他人の人権を侵す行為であることに気付かせ, 他人の痛みを理解させる。 ・いじめは人間として絶対に許されない行為であることを自覚させる。 ・不満やストレスがあってもいじめに向かわせない力を育む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の問題として捉えさせ, 誰かに知らせることの大切さに気付かせる。 ・いじめを傍観したり, はやし立てたりする行為も許されないことに気付かせる。 ・みんなの力でいじめをなくし, よりよい生活をつくることの大切さを自覚させる。
保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ発生に対する謝罪及び事実経過の説明をする。 ・今後の指導の方針及び具体的な手立てについて説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実経過の説明をして, 家庭における指導を要請する。 ・いじめられている児童及び保護者への謝罪に立ち会い, 仲介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報の内容や保護者の意向を確認の上, 教育的配慮の下, 全体・学級懇談会等で事実経過について説明する。

【再発防止に向けた取組】

(*いじめ防止対策委員会において検討)

- | | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 原因の詳細な分析 <ul style="list-style-type: none"> ・事実の整理, 指導方針の再確認 ・外部専門家チームによる助言 ○ 学校体制の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導体制の点検・改善 ・教育相談体制の強化(スクールカウンセラーの派遣要請等) ・校内研修の充実(児童(生徒)理解研修, 事例研究等) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 教育内容及び方法の改善・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・学年, 学級経営の見直し(心の居場所づくり, 人間関係づくり, 信頼感の醸成) ・豊かな心を育てる指導の充実(学級活動, 道徳の時間, 集団活動, 体験活動等) ・授業改善(魅力があり分かる授業, 認め励まし伸ばす指導, 自己有用感を獲得させる指導) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭, 地域との連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ・積極的な情報提供(教育方針, 教育活動の公開) ・開かれた学校評価の推進(アンケート, 学校関係者評価, 結果の公表等) ・保護者懇談会等の実施 ・PTA活動の活性化 ・PTA活動や地域行事への積極的な参加 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|